

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成 2 7 年度 第 5 回 (通算 9 回) ジョンソン基地跡地利用計画審議会
開 催 日 時	平成 2 7 年 8 月 1 8 日 (火) 午後 1 時 1 5 分 開会、午後 1 時 4 5 分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 5 階 5 0 1 会議室
議 長 氏 名	関根栄一
出席委員(者)氏名	青山正一、安孫子学、岩井絹江、岩崎 茂、大賀志日出輝、 久原愛生、小鹿広美、駒月理人、澤田壽一、関根栄一、 高石直美、高橋康造、瀧 和之、豊泉一雄、吉川弘三
欠席委員(者)氏名	-
説明者の職氏名	課長 浅見嘉之、副主幹 亀田一生
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 議 題 (1) 立川基地跡地留保地 (昭島地区) 視察に関する検討結果について (公開) (2) 答申案の最終確認について (公開) 3 その他 4 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	3 0 名
配 布 資 料	・資料 2 1 立川基地跡地留保地 (昭島地区) 視察に関する検討結果について ・資料 2 2 - 1 東町側留保地についての審議会答申書(案) ・資料 2 2 - 2 事前送付した答申案に対する委員意見とその対応一覧表
事務局職員職氏名	企画部長 田中利之、次長 長谷川芳明、企画課長 浅見嘉之 副主幹 亀田一生、主事 松本幸文、主事補 齊藤正文
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 （２）

議 事 の 概 要 （ 経 過 ） ・ 決 定 事 項

○議題（１）「立川基地跡地留保地（昭島地区）視察に関する検討結果について」

視察に行くための予算が現時点では確保されていないこと、公式に審議会として視察に行く以上、全員参加を前提に実施する必要があるということ。以上の理由から、本年度の秋以降に実施を検討する、ということを会長が提案し、委員の了承を得た。

○議題（２）「答申案の最終確認について」

- ・ 答申案文については、事務局と会長で、委員の多数意見を基に、少数意見を付記した形で作成した。
- ・ 答申案文について、事前に各委員から意見を受け付け、事務局と会長で協議したうえで、必要と判断した意見については、答申案に反映した。
- ・ 事前に各委員から意見が出た箇所ごとに、事務局から説明し、それについて意見を求めたところ、すべてについて異議なしであったことから、答申内容が確定した。確認した箇所は、会議録（３）のとおり。
- ・ 市長の都合が合えば、審議会閉会后、会長と副会長が委員を代表して、市長に直接答申書を提出するという会長の提案を委員が承認し、市長への答申書の提出は、会長、副会長に一任された。

○その他

- ・ 今後の審議会の日程等は、改めて事務局から委員へ案内する。
- ・ 審議会後に、会長、副会長から市長へ答申書が提出された場合は、答申書の写しを後日事務局から委員に送付する。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>これより、平成２７年度第５回、通算９回のジョンソン基地跡地利用計画審議会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、議長のほか、名簿順により「澤田委員」を指名いたします。</p> <p>議事に入る前に、私から傍聴者の皆様に改めて申し上げます。資料とともに配布している遵守事項にも示されているとおり、静粛に傍聴していただくことがルールとなっておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、委員の皆さんに申し上げます。前回、第４回審議会で、ルールを守らず私語を発していた傍聴者に向かって、一委員が「会場から出て行くように」という発言を行いました。傍聴者が会議中、不規則発言することはルール違反ですが、それに対して注意し、それでもルールを守らない傍聴者がいた場合に退場を命じることができるのは議長である私です。この点を改めて委員の皆さんにお伝えするとともに、前回のような発言は厳に慎むよう各委員に注意を申し上げます。委員各位には、第３回会議の冒頭においても慎重な発言と適切な討論を求めたところですので、念のため申し添えます。</p> <p>それでは、早速、議事に入ります。議題「（１）立川基地跡地留保地（昭島地区）視察に関する検討結果について」ですが、前回の会議で、この件については、事務局と私で検討することとなっていました。本日はその結果を私から申し上げます。事務局に用意していただいた資料２１にも記載があるように、この視察について検討しましたところ、実施するにはいくつかの課題・問題点があることがわかりました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>1点目として、審議会として視察に行くための予算が現時点では確保されていないことです。慎重審議ということで、予定よりも多くの審議会を開催してきた結果、本日の会議の開催で当初予算分は使い切ることとなります。</p> <p>2点目として、公式に審議会として視察に行く以上、通常の会議と同様に全員参加を前提に実施する必要があるということです。有志で視察を実施というご意見もありましたが、やむを得ずご都合がつかない委員を除いて原則参加とするものです。</p> <p>これらの点を考慮しますと、私としましては、視察については、事務局による事前準備・調査、新たな予算の確保を済ませたうえで、全委員を対象に実施すべきと考えます。</p> <p>また、この視察は、今後、検討が必要になってくる「入間市駅前側留保地」の参考にもなるのではないかと思います。</p> <p>以上のことから、立川基地跡地留保地（昭島地区）視察については、本年度の秋以降に実施を検討する方向で進めたいと考えております。</p> <p>そこで、皆さんにお諮りします。立川基地跡地留保地（昭島地区）視察については、ただ今申し上げたとおり、本年度の秋以降に実施を検討する方向で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<異議なし>
関根会長	<p>ありがとうございます。視察についてはそのように進めたいと思います。</p> <p>それでは、次の議題「（２）答申案の最終確認について」に入りたいと思います。最初に、答申案の作成趣旨と構成について申し上げます。</p> <p>前回の会議で申し上げましたとおり、答申案文については、事務局と私</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>の方で、委員の多数意見を基に、少数意見を付記した形で作成することとしました。ですから、本日お示ししました答申案文もそのような趣旨で作成されております。構成としては、前文がありまして、本文の「1 答申内容」、「2 答申に至った理由」、裏面になりますが、「3 附帯意見」、となります。ここまでは、審議会での多数意見に基づく内容となっております。最後に少数意見を付記しています。</p> <p>次に、答申案の最終確認の方法を申し上げます。事務局から8月6日に各委員へ最初の答申案文を送付させていただきました。各委員におかれましては、その答申案文について、ご意見があれば事前に出していただくことになっていました。そして、いただいたご意見については、事務局と私で協議したうえで、対応を決めまして、必要と判断したご意見については、本日配布しました答申案に反映しております。これから、答申案文の上から順番にご意見をいただいた箇所ごとに事務局から説明していただき、それについて確認していただいたり、ご意見等をいただいたりしたいと思います。また、必要があれば、本日この場で修正を加え、内容を確定していきたいと思います。</p> <p>具体的には、事務局から「答申案に対する委員意見とその対応一覧表」に沿って項目ごとに説明していただきます。そして、その表の「意見への対応」に示された内容の対応とすることについて、項目ごとに確認させていただきます。</p> <p>8月6日にお送りしたはじめの案に対して、特に修正は不要ということでご意見を提出されなかった委員も多くいらっしゃることから、修正するかどうか等、皆さんに確認しながら内容を確定していきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、事務局からお願いします。</p> <p>答申案の最終確認に入る前に、本日お示ししました答申案の作成経緯に</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>ついてご説明します。前回7月24日の第4回審議会で会長から指示がありましたとおり、会長と事務局で協議して作成した最初の答申案文については、8月12日までに委員の皆様からのご意見をいただきました。会長と事務局で、そのご意見について答申案に反映させるべきか否かを検討した結果、必要と判断したご意見については、反映させまして、本日配布の資料22-1 答申案となっております。新たに追加した部分は赤字で示してあります。</p> <p>では、具体的に各委員からいただいたご意見の該当箇所とその内容、意見への対応、その理由についてご説明します。「答申案」と「委員意見とその対応一覧表資料」をご覧ください。</p> <p>まず、「1 答申内容」についてですが、安孫子委員からいただいたご意見です。答申本文の「同意すべき」の表現を「防衛省との協議に入ることと同意すべき」にした方が良い、というものです。この意見については、防衛省との協議に入ることへの同意では、防衛省の申し入れに同意すべきとする、多数意見とは異なる見解であることから、答申の文末に、少数意見として付記すべきと判断しました。具体的には、答申案文の裏面の下の方に①で示しました。以上です。</p> <p>ただいま、案文の「1 答申内容」の安孫子委員からのご意見について、事務局から説明がありました。私としては、事務局の説明にあったとおり、少数意見として付記する対応でよろしいと思いますが、この修正内容について、何かご意見・ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>無いようですので、この箇所については、本日お示した案のと通りの対応といたします。</p> <p>次に、答申案文の「2 答申に至った理由」の高橋委員からのご意見に</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>ついて、事務局から説明をお願いします。</p> <p>「2 答申に至った理由」のうち、高橋委員からいただいたご意見については、一括してご説明します。諮問から答申までの経緯を付記するべきではないか、というものです。この意見については、入間市文書事務の手引きにも、答申に至る経過を記述する事例が示されており、意見の趣旨を採用し、答申前文に追記することとしました。答申案では赤字で示してあります。</p> <p>それから、答申の理由に至った根拠を提示してはどうか、とのご意見ですが、一覧表に○印で示したとおり、4つございます。答申案では、理由について、最も必要と思われる事項のみを箇条書きで表記することとしたことから、それ以上細かな内容は省略させていただきました。したがって、4つのご意見はいずれも反映しないこととしました。なお、それぞれの項目の理由は一覧表を参照願います。以上です。</p>
関根会長	<p>ただいま、答申案文の「2 答申に至った理由」の高橋委員からのご意見について、事務局から説明がありました。事務局の説明にあったとおり、答申までの経緯を答申の前文に追記する対応、さらには、理由の根拠を示しては、との意見については反映しないという対応でよいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p><異議なし></p>
関根会長	<p>ありがとうございました。それでは、高橋委員のご意見への対応については、前文に答申までの経緯を追加し、理由の根拠については反映しないということにいたします。</p> <p>次に、答申案文の「2 答申に至った理由の(1)災害対処拠点①」の安</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>孫子委員からのご意見について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>「東日本大震災における自衛隊の災害派遣活動の実績を踏まえると」の記述は、審議会において深くは議論されていないので、可能なら削除すべき、というものです。この意見については、平成２７年度第３回審議会会議録８ページに発言実績があるため、反映せずに答申案文のままとしました。以上です。</p>
関根会長	<p>ただいま、答申案文の「２ 答申に至った理由 （１）災害対処拠点①」の安孫子委員からのご意見について、事務局から説明がありました。私としては、事務局の説明にあったとおり、発言の事実があるならば、答申に記載して差し支えないと判断し、この記述は案のまま残す対応でよいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p><異議なし></p>
関根会長	<p>ありがとうございました。それでは、安孫子委員のご意見への対応については、反映せず、案のとおりといたします。</p> <p>次に、答申案文の「２ 答申に至った理由の(1)災害対処拠点②」の岩崎委員からのご意見について、事務局から説明をお願いします。</p>
浅見課長	<p>運動場については、入間市体育連盟他、スポーツ団体や市民の声を十分に反映し、これに沿った整備を行っていただくよう強く要望する、というものです。この意見については、附帯意見(1)で趣旨は述べていること、さらに、答申案に詳細は記述していませんが、今後防衛省とはご意見の内容を踏まえた調整を行っていくということで、反映せずに答申案文のまま</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>としました。以上です。</p> <p>ただいま、答申案文の「2 答申に至った理由 (1) 災害対処拠点②」の岩崎委員からのご意見について、事務局から説明がありました。私としては、事務局の説明にあったとおり、附帯意見に趣旨が述べられていて、なおかつ、今後防衛省とは市民の声が反映されるよう調整していくとのことですので、本日お示しした答申案のままという対応でよいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p><異議なし></p>
関根会長	<p>ありがとうございました。それでは、岩崎委員のご意見への対応については、案のとおりといたします。</p> <p>次に、答申案文の「2 答申に至った理由の(2)自衛隊病院」の安孫子委員からのご意見、及び澤田委員からのご意見については、同じ箇所に関連がありますので、事務局から一括して説明をお願いします。</p>
浅見課長	<p>まず、安孫子委員の意見ですが、「市外の病院への救急搬送が多い現状から、」の記述は、審議会において深くは議論されていないので、可能なら削除すべき、というものです。また、同じ項目に対する澤田委員のご意見は、「市外への救急搬送が多い状況」の「多い」という表記では、その度合いが分かりにくいとため、表現を再考すべきというものでした。この2つの意見については、該当箇所の表現を、平成26年度第4回審議会で資料提供し、説明していますが、委員の議論は確認できないため、安孫子委員の意見を尊重して、該当箇所を削除としました。答申案文では二重取り消し線で示しております。以上です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>ただいま、答申案文の「２ 答申に至った理由（２）自衛隊病院」の安孫子委員及び澤田委員からのご意見について、事務局から説明がありました。私としては、安孫子委員のご意見にあるように、審議会での議論を踏まえた答申が望ましいと考えまして、答申案のように該当箇所を削除することといたしましたが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p><異議なし></p>
関根会長	<p>ありがとうございました。それでは、安孫子委員及び澤田委員のご意見への対応については、事務局から説明のあった案のとおり、該当部分を削除することといたします。</p> <p>次に、答申案文の「２ 答申に至った理由の（２）自衛隊病院」の岩崎委員からのご意見からのご意見について、事務局から説明をお願いします。</p>
浅見課長	<p>救急搬送の受け入れの約束事は文書にて取り交わすべき、というものです。この意見については、別途作成する防衛省への要望事項について、文書で取り交わすことも含め、調整していくということで、反映せずに答申案文のままとしました。以上です。</p>
関根会長	<p>ただいま、答申案文の「２ 答申に至った理由（２）自衛隊病院」の岩崎委員からのご意見について、事務局から説明がありました。私としては、事務局の説明にあったとおり、防衛省への要望事項については、別途、文書にて取り交わすことも含め、調整していくとのことですので、答申の記述は、本日お示しした案のままという対応でよいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>＜異議なし＞</p>
関根会長	<p>ありがとうございました。それでは、岩崎委員のご意見への対応については、反映せずに案のとおりといたします。ただし、ご意見の趣旨は今後の防衛省との調整に活かしていきたいと思います。</p> <p>次に、答申案に対する委員のご意見のうち、大賀志委員からのものについて、事務局から説明をお願いします。</p>
浅見課長	<p>一覧表の下の部分に、大賀志委員からの意見に対する対応をお示ししました。大きく3つの内容をいただきましたが、いずれも、多数意見に基づいて構成される答申案への意見とは方向性が異なるため、これらの意見は、少数意見として答申案の文末に付記することとしました。具体的には、答申案文の裏面の下の方に②～④で示しました。以上です。</p>
関根会長	<p>ただいま、大賀志委員から出されたご意見について、事務局から説明がありました。私としては、この答申は前回の会議で多数意見に基づき作成することが了承されておりますので、少数意見については、付記する形がよいと考えております。したがって、答申案のとおりとさせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>＜異議なし＞</p>
関根会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>答申案について、ひととおり確認・協議していただきました。</p> <p>確認の結果、本日お示ししました答申案のとおり修正なしということでございますので、本審議会としての答申を確定させたいと思います。よろ</p>

発 言 者	発 言 内 容
久原委員	<p>しいでしょうか。</p> <p>すべての附帯意見に、「協議調整に努める」と書いてあります。特に気になるのは「（３）環境への配慮について」です。留保地の林は、防音林としての役割も果たしておりますが、協議の結果、それがすべて取り払われることになってしまった場合、その責任の所在はどこにあるのでしょうか。そういった意味で、「協議調整に努める」という言葉には少し不安がありますが、言葉というよりも、その中身として、しっかりとした対応をしていただきたいと思います。</p>
関根会長	<p>今の意見について、事務局はどう考えますか。</p>
浅見課長	<p>久原委員が言いたいことは、答申を出した後の、市の防衛省との対応をチェックしていけるのか、ということではないかと思います。それについては、審議会が引き続きチェックしていくという考え方もありましたが、審議会の条例によると、その方法は難しいので、事務局としましては、まだ、実現するかは分かりませんが、別途、関係団体の組織を作るなどして、チェックしていく、というようなことも考えております。</p> <p>また、この久原委員のご意見は、防衛省にもしっかりと伝えていきたいと思っております。以上です。</p>
関根会長	<p>久原委員、よろしいですか。</p>
久原委員	<p>はい。</p>
関根会長	<p>他に意見はございますか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>それでは、お手元の案文の内容で答申を確定したいと思います。これまでの委員の皆様の熱心なご議論、会議進行に対するご協力について、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。</p>
浅見課長	<p>答申書の最終案がまとまりましたので、事務局から朗読を行っていただきます。事務局お願いします。</p>
関根会長	<p>＜事務局による最終答申案文朗読＞</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>皆様のご協力をもちまして、答申書の内容が確定しました。本日、市長のご都合が合えば、審議会閉会后、吉川副会長と私が委員の皆様を代表して、市長に直接答申書を提出したいと考えております。私どもに一任していただけますでしょうか。</p>
委員	<p>＜異議なし＞</p>
関根会長	<p>ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。以上で、本日の議題はすべて終了しました。それでは進行を事務局にお戻ししたいと思います。</p>
亀田副主幹	<p>それでは、その他といたしまして、本日以降の予定をお知らせいたします。</p> <p>視察を含めた今後の審議会の日程等は、改めて事務局からご案内いたします。なお、会長、副会長から市長へ答申書が提出された場合は、答申書の写しを後日委員の皆様にお送りいたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中部長	<p>私から一言お礼を申し上げさせていただきます。昨年の１２月から、熱心な審議をしていただきありがとうございました。答申内容を確定していただきましたことにつきましても、改めて御礼申し上げます。</p> <p>ところで、本日この会議の後の会長、副会長による市長へ答申についてですが、秘書課に市長の都合を確認し、よろしければ、関根会長、吉川副会長に答申書の提出をお願いしたいと思っております。会議閉会後もお二人にはこの場にとどまっていただきますようお願い申し上げます。</p>
長谷川次長	<p>これを持ちまして平成２７年度第５回（通算９回）のジョンソン基地跡地利用計画審議会を終了します。</p> <p>ありがとうございました。</p>

議事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成27年9月3日

議長の署名

関根 栄一

議長が指名した者の署名

関根 栄一